

平成27年9月11日
国土交通省東北地方整備局
磐城国道事務所

未来の土木技術者が工事現場体験 ～二本松工業高等学校生が平バイパスを見学～

平成27年9月14日（月）、一般国道49号平バイパスの^{かみあらかわ}上荒川トンネル・^{ごろうち}五郎内トンネルを福島県立二本松工業高等学校都市システム科の生徒さんが見学いたします。

この見学会は、若年者の建設現場見学会並びに建設現場実習の一環として、一般社団法人福島県建設業協会の主催によるものです。

未来を担う若き技術者の皆さんに、実際の工事現場を身近に知ってもらい、これを機会に建設業への理解も深まればと考えております。

1. 日時 平成27年9月14日（月）10：10～11：30
2. 場所 一般国道49号平バイパス
^{かみあらかわ}上荒川トンネル・^{ごろうち}五郎内トンネル
3. 見学者 福島県立二本松工業高等学校 都市システム科 1年生38名
4. その他 報道関係の方におかれましては、10：10に^{かみあらかわ}上荒川トンネルの工事現場（別添位置図参照）に集合願います。

発表記者會等：いわき記者会、いわき記者クラブ、いわき市ふるさと発信課、
福島建設工業新聞

問い合わせ

◆事業に関する事

国土交通省 東北地方整備局 磐城国道事務所
TEL 0246-23-2211（代表）
副所長 千葉 富彦（内線204）
工務課長 岩淵 誠（内線411）

◆見学会に関する事

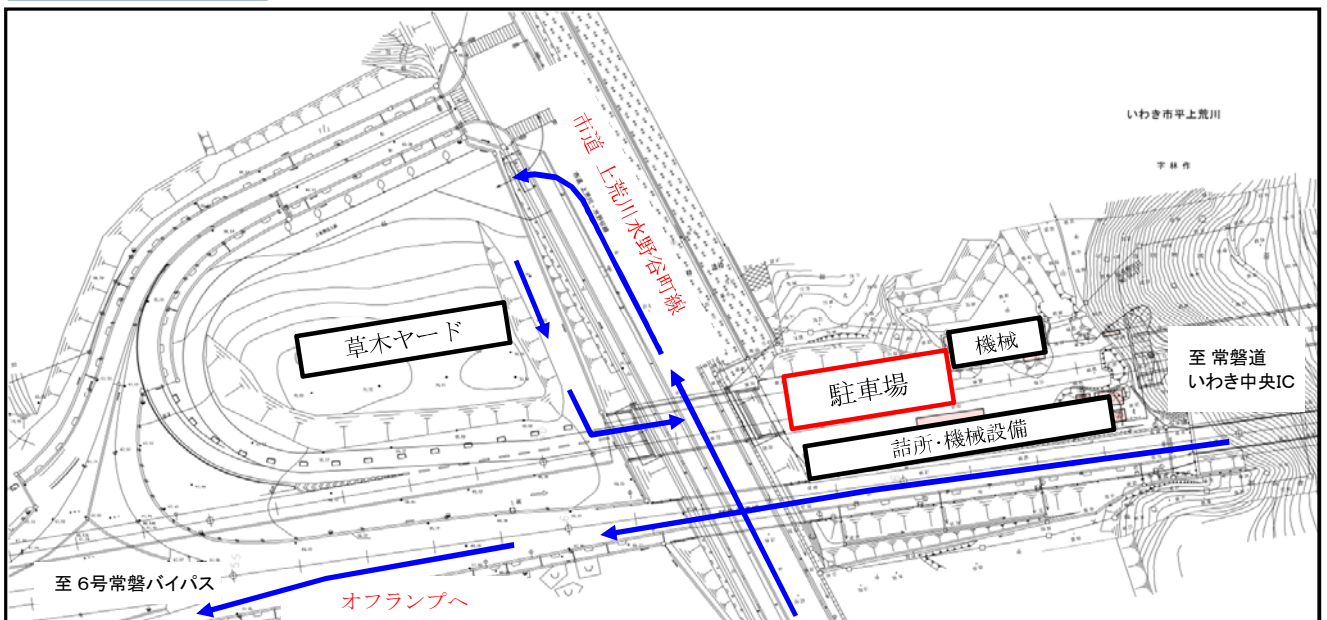
一般社団法人福島県建設業協会
TEL 024-521-0244
浅野 聡一

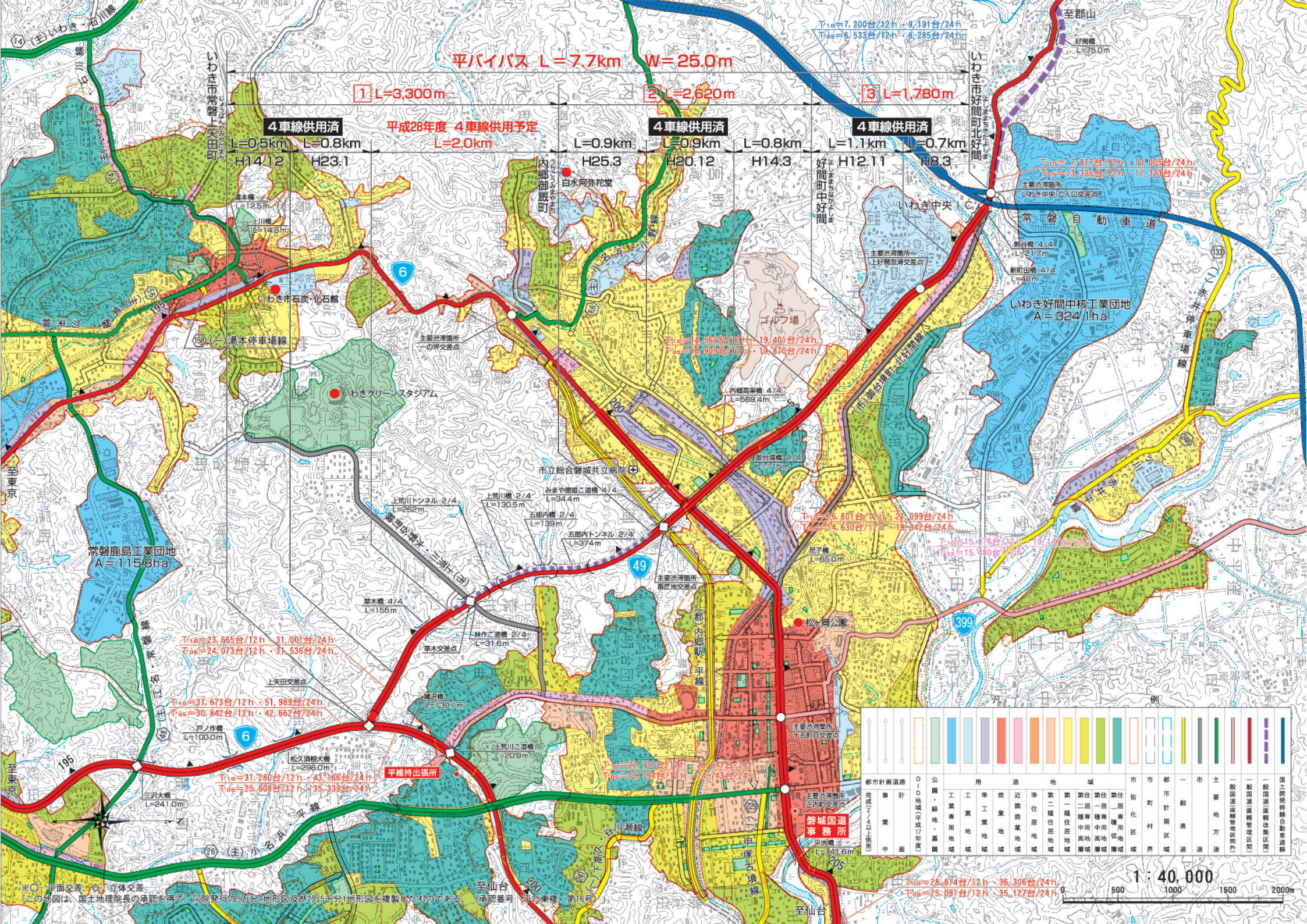
国道49号 上荒川トンネル・五郎内トンネル 工事箇所

位置図



拡大図





平バイパス L=7.7km W=25.0m

① L=3,300m

② L=2,620m

③ L=1,780m

4車線供用済

平成28年度 4車線供用予定
L=2.0km

4車線供用済

4車線供用済

L=0.5km

L=0.8km

L=0.9km

L=0.9km

L=0.8km

L=1.1km

L=0.7km

H14.12

H23.1

H25.3

H20.12

H14.3

H12.11

H8.3

L=12.5m

L=14.8m

L=12.5m

L=14.8m

L=4.7m

L=569.4m

L=4.4m

L=11.5m

L=4.4m

L=11.5m

L=4.4m

L=11.5m

L=4.4m

L=11.5m

L=4.4m

L=11.5m

L=4.4m

L=11.5m

T₁₀=23,665台/12h・31,001台/24h
T₀₅=24,073台/12h・31,536台/24h

T₁₀=37,673台/12h・51,983台/24h
T₀₅=30,842台/12h・42,662台/24h

T₁₀=31,280台/12h・43,366台/24h
T₀₅=25,603台/12h・35,339台/24h

T₁₀=22,731台/12h・30,641台/24h
T₀₅=18,793台/12h・25,433台/24h

T₁₀=25,801台/12h・34,099台/24h
T₀₅=14,630台/12h・18,542台/24h

T₁₀=14,909台/12h・19,404台/24h
T₀₅=10,908台/12h・13,870台/24h

T₁₀=15,976台/12h・21,425台/24h
T₀₅=11,975台/12h・15,960台/24h

T₁₀=28,814台/12h・36,306台/24h
T₀₅=25,081台/12h・35,127台/24h

T₁₀=7,817台/12h・10,005台/24h
T₀₅=13,325台/12h・17,323台/24h

	都市計画道路		国道
	D		一般国道
	D		一般道
	D		一般道
	D		一般道
	D		一般道
	D		一般道
	D		一般道
	D		一般道
	D		一般道
	D		一般道
	D		一般道
	D		一般道
	D		一般道
	D		一般道
	D		一般道
	D		一般道
	D		一般道
	D		一般道
	D		一般道
	D		一般道
	D		一般道
	D		一般道
	D		一般道

1 : 40,000
500 1000 1500 2000m

平バイパスの事業概要

一般国道49号は、福島県いわき市から新潟県新潟市を結び、広域交流や沿道市町村の連携強化を支える延長約240kmの主要幹線道路です。平バイパスは、いわき市内の交通混雑や国道49号沿道の道路環境など、交通をとりまく環境の改善と常磐自動車道いわき中央ICへのアクセス機能強化を目的に、福島県いわき市常磐上矢田町～好間町北好間までのバイパスとして昭和56年度に事業着手し、平成7年9月に全線2車線で暫定供用しています。暫定供用以降は、交通混雑区間の4車線化や主要交差点の立体化等を段階的に整備し、平成24年度末の4車線整備率は、74%に達しました。

現在は、いわき市平上荒川～内郷御厩町までの区間(L=2.0km)の事業を促進し、平成28年度的全線4車線供用を目指しています。

●事業経緯

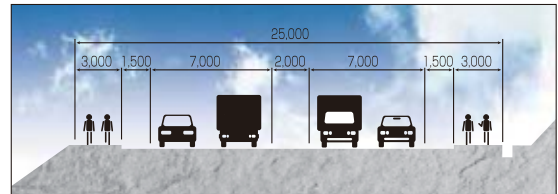
昭和47年度	調査着手
昭和56年度	事業着手(2・3工区)
昭和58年度	用地着手(2・3工区)
昭和59年度	工事着手(2・3工区)
昭和62年度	2車線暫定供用(2・3工区)
昭和62年度	事業着手(1工区)
平成元年度	用地・工事着手(1工区)
平成7年度	2車線暫定供用(1工区)
平成12年度	4車線供用(3工区)
平成12年度	番匠地交差点立体化完成(平成12年11月)
平成14年度	上矢田交差点立体化完成(平成14年12月)
平成22年度	4車線供用(1工区:常磐上矢田町～平上荒川 L=0.8km)
平成24年度	4車線供用(2工区)
平成28年度*	全線4車線供用予定

※1:供用予定年度については、事業進捗等により、変更になる場合があります。

●道路構造諸元

延長	7.7km
構造規格	3種1級(4車線)
設計速度	80km/h
曲線半径(最小)	400m
縦断勾配(最大)	4.0%

●標準横断面図



▲内郷御厩町の交通渋滞状況(H25.9)

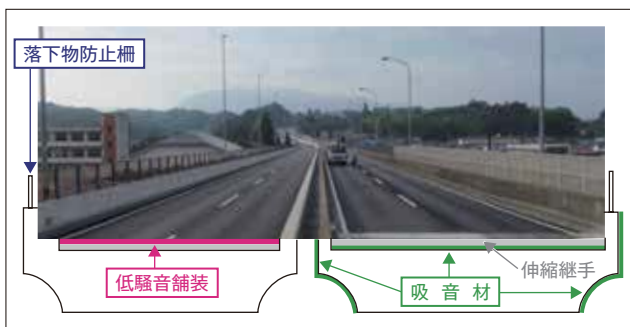
平バイパスの整備効果

■内郷高架橋の整備効果(平成24年度完成)

内郷高架橋は、国道6号、JR常磐線及び内郷市街地を通過する橋長569.4mの高架橋です。下り線側は、平成18年度に工事着手し、上り線側の耐震補強工事も実施しながら、平成25年2月に完成・供用しました。

通過する市街地に配慮した対策は、次のとおりです。

- 橋の路面は、雨水が浸透し、騒音の低減効果もある舗装を採用しています。
- 伸縮継手部には吸音材を設置して、伸縮継手部を車両が通過するときに発生する騒音を防いでいます。
- 全線に透過性の落下物防止柵を設置しています。



▲4車線供用した内郷高架橋

■事業効果(予測※2)

- 上矢田交差点～常磐自動車道いわき中央IC間の所要時間が25分(朝夕のピーク時)→約9分に短縮されます。
- 浜通り地方で唯一の第三次救急医療施設である総合磐城共立病院への速達性も向上します。

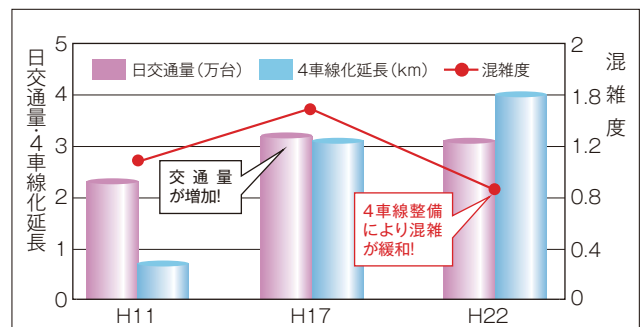
※2:平成25年度当初を現況とし、平成28年度全線4車線供用後の効果を予測したものです。

■4車線化整備事業(平成28年度全線供用予定)

平バイパスは、常磐バイパス(L=27.7km)が平成12年3月に全線暫定2車線で供用されると、いわき中央ICやいわき好間中核工業団地へのアクセス道路としての利便性が高くなり、主要な交差点では交通渋滞が発生しました。このため、交通渋滞の著しい区間から段階的に4車線化や立体交差点へ整備し、交通混雑の緩和を図っています。

4車線供用後の主な効果は、次のとおりです。

- 交通容量が増加することから、朝夕の交通渋滞が緩和します。
- 周辺道路の交通が平バイパスへ転換されることにより、市街地の交通混雑の緩和や沿道環境の改善が図られます。



▲内郷御厩町番匠地の交通状況の推移(各年の道路交通センサス結果)

